

44th Tomakomai Skate Festival

第44回 とまこまい スケートまつり

2月6日、7日開催
冬の苫小牧を代表するイベント



市民のひろば

今年も若草中央公園をメイン会場に「スケートまつり」が開催されました。来場した約5万2千人は、名物「しばれ焼き」やさまざまなアトラクションを楽しみ、スケートのまち苫小牧の冬まつりを満喫しました。



今月の表紙



2月6日(日)に会場中央の雪山でチューブすべりを楽しむ子どもたちの風景。スリルとスピード感に満面の笑みがこぼれました。



44th Tomakomai Skate Festival



楽しく運動不足を解消する「フロアカーリング」が開催

日常生活に運動を取り入れ、健康を維持することを目的に、軽スポーツ教室が2月2日(火)から3日間、豊川小学校で開催されました。教室では糸井地区の住民18人が、手軽に取り組めるフロアカーリングに挑戦。参加者は運動による健康づくりを目指し、仲間と楽しく取り組んでいました。



オリジナルの雛人形を飾ろう 木目込みひな人形講座が開催

2月1日(月)から3日間の日程で、「木目込みひな人形講座」が女性センターで開催。講座では木の人形に衣服や模様の筋彫りを入れ、そこに布の端を押し込んで衣装を着ているように仕立て、雛人形を作りました。参加者はひな祭りにオリジナルの人形を飾るため、熱心に作業をしていました。



苦小牧の子どもたちが自分たちのまちやまちづくりについて話し合う、第23回苦小牧市子ども会議が1月31日(日)にアイビー・プラザで

タウンスケッチ

～まちの出来事～



Town Sketch

このまちの未来を考える 苦小牧市子ども会議開催

苦小牧の子どもたちが自分たちのまちやまちづくりについて話し合う、第23回苦小牧市子ども会議が1月31日(日)にアイビー・プラザで開催されました。参加した小・中学生18人は、家庭での温暖化対策や苦小牧のシンボル樽前山の観光客へのアイビー方法、駅周辺の活性化のためのサービスなど、子どもの視点からの提案を発表。子どもたちは未来に輝くまちを目指し、熱心に議論を交わしていました。



水鳥たちを生き生きと表現 苦小牧の水鳥絵画展が開催

2月13日(日)から野鳥の楽園ウトナイ湖の水鳥を描いた水鳥絵画展がウトナイ湖野生鳥獣保護センターで始まりました。展示会では小学生の作品91点が展示され、どの作品も水鳥を生き生きと描いた力作ばかりです。絵画展示は3月7日まで、その後28日まで苦小牧の自然写真を展示します。



生き物たちの冬の生態を紹介 企画展「春を待つ生き物たち」

厳しい冬を生き抜くための生き物たちの生態を知ってもらう目的で企画展「春を待つ生き物たち」が2月6日(日)から博物館で始まりました。この展示ではほ乳類や鳥類など約80種類の水鳥を写真や標本で紹介し、生態の不思議が身近に感じられます。企画展は3月20日まで開催しています。